

## 世界 LNG 動向 2021 年 10 月

橋本裕 \*

### はじめに

世界の LNG・天然ガス市場を、引き続き高価格が席巻している。アジアのスポット LNG 價格アセスメント、欧洲スポット天然ガスとともに、10 月上旬の最高水準から、11 月上旬にやや下がったものの、引き続き史上最高水準にある。

中国企業による長期契約での LNG 調達活動が活発である。深圳燃氣は 10 月後半、bp より、2023 年からパイプラインガス最大年間 30 万トン相当を購入する契約を締結した。新奥能源は同月中旬、米 Cheniere Energy より、2022 年 7 月から 13 年間、年間 90 万トンを購入する契約を締結した。中国中化は 11 月上旬、同じく Cheniere Energy より、2022 年 7 月から 17.5 年間、当初年間 90 万トン、その後年間 180 万トンに増加して購入する契約を締結した。また、中国石化は同月上旬、米 Venture Global LNG より、20 年間、年間 400 万トン分の売買契約 2 本を締結した。

中国向け以外でも、Cheniere Energy は、10 月下旬に、資源トレーディング大手 Glencore 向けに、2023 年 4 月から 13 年間、年間 80 万トンを販売する契約を締結した。

2021 年最初の 9 ヶ月間の LNG 貿易動向を見ると、世界全体で 2.77 億トン、前年同期比 4.6%、1200 万トン強の堅調な増加となっている。輸入地域別でみると、日本を含むアジア向けが 2000 万トン程度増加、この内、中国は 1100 万トン程度と、大幅に増加した。他方、欧洲連合・英国向けは 1100 万トン減少した。輸出国を見ると、豪州、カタールは前年同期比でほぼ横這いの各々 5800 万トン弱となっている。大幅に増加したのは、米国本土からの輸出で、前年同期比 60%、1900 万トン程度増加して、約 5000 万トンとなった。輸入サイドでの中国を中心としたアジアの増加、輸出サイドでの米国の増加が際立っている。

### 【アジア太平洋】

日本の「電力・ガス需給と燃料（LNG）調達に関する官民連絡会議」で提示された情報によると、大手電力会社の 10 月半ば時点の LNG 在庫は過去 5 年間で最高水準であり、昨年同時期と比べ約 70 万トン増となった。

石油資源開発（JAPEX）は、2021 年 10 月 8 日、自社として初のカーボンニュートラル LNG カーゴを 10 月 7 日に、相馬 LNG 基地で受け入れたことを発表した。三菱商事子会社ダイアモンド・ガス・インターナショナル社から購入した。

---

\* 化石エネルギー・国際協力ユニット ガスグループ

INPEX、九州電力は、2021 年 10 月 19 日、両社がタイ PTT の 100%子会社 PTT International Trading Pte Ltd と、協業覚書を締結したことを発表した。

三菱商事は、2021 年 10 月 18 日、温室効果ガス (GHG) 排出量の新たな削減目標と、エネルギー・トランسفォーメーション (EX) 関連投資に関する指針を策定したことを発表した。1. GHG 排出量の削減目標: 2030 年度半減(2020 年度比)/2050 年ネットゼロ 2. EX 関連投資: 2030 年度までに 2 兆円規模

INPEX と大阪ガスは、2021 年 10 月 15 日、INPEX が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) から採択された助成事業のもと、ガスのカーボンニュートラル化に向けた CO<sub>2</sub>-メタネーションシステムの実用化を目指した技術開発事業を開始することを発表した。本事業の実証は INPEX 長岡鉱場 (新潟県長岡市) 越路原プラントに接続して構築する場所にて行う予定である。同鉱場内から回収した二酸化炭素を用いて合成メタンを製造する実証実験を 2024 年度後半から 2025 年度にかけて実施する予定である。

一般社団法人日本船主協会は、2021 年 10 月 26 日、日本の海運業界として「2050 年 GHG ネットゼロへ挑戦する」ことを表明した。

アジア開発銀行 (ADB) は、2021 年 10 月 20 日、信頼性あり入手可能水準でのエネルギー供給への普遍的アクセスを支援しつつ、アジア太平洋地域の低炭素移行を促進する新エネルギー方針を承認した、と発表した。

千代田化工建設、三菱商事、シンガポール Sembcorp Industries は、2021 年 10 月 4 日、千代田化工建設の SPERA 水素を活用したシンガポールでのクリーン水素サプライチェーン事業の調査・実現に向けた戦略的な提携に関する覚書を締結したことを発表した。

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 (TGES) は、2021 年 10 月 5 日、タイ PTT 子会社 Siam Management Holdings Company Limited (SMH) と共同で合弁会社 PTT & TGES Optec 社を設立する契約に合意し、タイにて工業用、SPP 事業、公共事業の需要家に向けたオンライン・エネルギー・サービス事業および LNG 供給事業に参画することを発表した。

ベトナム北中部クアンチ省での新規 LNG 火力発電設備第 1 段階が、2021 年 10 月 8 日、承認された。Hải Lăng LNG 火力発電設備は、同国 T&T Group、韓国ガス公社 (KOGAS)、ハンファエナジー、韓国南部発電 (KOSPO) 連合により計画されている。

中国中央政府の数字によると、同国は 2021 年最初の 9 ヶ月間で、2725 億 m<sup>3</sup> の天然ガスを消費、前年同期比 15.2% 増となった。

bp は、2021 年 10 月 20 日、深圳 安液化石油气有限公司 (深圳 安 = Shenzhen Sino-Benny LPG Co Ltd と、中国の国内ガス市場で国際 LNG に価格連動する初の長期取引として、ガス売買契約を締結したことを発表した。2023 年から、深圳市燃气集 股份有限公司 (深圳燃气 = Shenzhen Gas Group) 子会社である深圳 安にパイプラインガス最大年間 300,000 トンを供給する。このガスは廣 大 (Guangdong Dapeng) LNG 基地を通じて供給される。

中国の首相は、自国によりグリーンな経済への道筋は、「エネルギー安定供給」により支えられなくてはならず、今般の電力不足の全面的な分析が必要と述べた。また化石燃料国内生産増加、先進的石炭火力発電設備増設継続が必要と述べた。

豪連邦政府は、2021 年 10 月 1 日、新規 CCS プロジェクトの排出抑制効果をクレジットするため、排出削減ファンド (ERF) 法を構築したことを発表した。炭素を回収し地中に恒久的に貯蔵する大規模 CCS プロジェクトに、取引可能なユニット（豪州炭素クレジットユニット (ACCUs)）を与える。CCS プロジェクトが獲得する ACCU は、回避された炭素排出 1 トンに相当する。プロジェクトは、ACCUs を豪連邦政府に年 2 回のオークションを通じて売り渡す、または民間の自主的な市場で売却することができるところとなる。

Santos、Beach Energy は、2021 年 11 月 1 日、サウスオーストラリア州 Moomba 炭素回収貯蔵 (CCS) プロジェクトに関して、2024 年稼働開始見込みで最終投資決定 (FID) を発表した。Santos は同プロジェクトを、クリーンエネルギー規制機関に登録済み。同機関の CCS 手法によると、クレジット適用期間が 25 年間、それにより排出削減に関して豪州連邦カーボンクレジットユニット (ACCUs) を受けることができる。Santos は同プロジェクトの 66.7%を持つオペレーターである。残りは Beach Energy が所有している。

Origin Energy Limited は、2021 年 10 月 25 日、EIG との間で、Australia Pacific LNG (APLNG) 持分 10% 売却契約を締結した、と発表した。売却完了後、持分配分は ConocoPhillips (37.5%)、Origin (27.5%)、中国石化 (Sinopec) (25%)、EIG (10%) となる。この売却により、Origin の上流探査、開発、生産を担当する上流オペレーターとしての役割に変更はない。

三井物産、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) は、2021 年 10 月 4 日、西豪州におけるクリーン燃料アンモニア生産の事業化を見据えて、CO<sub>2</sub> の回収・貯留 (CCS) に関する共同調査を実施することに合意し、三井物産 100% 子会社の Mitsui E&P Australia Pty Ltd (MEPAU) と JOGMEC の間で契約を締結したことを発表した。MEPAU は Wesfarmers Chemicals, Energy & Fertilisers Limited (WesCEF) と西豪州におけるクリーン燃料アンモニア生産に関する事業化調査を実施する覚書を交換した。MEPAU は 50% の権益を保有する西豪州 Waitsia ガス田をオペレーターとして開発中で、同ガス田近隣の廃ガス田の権益を 100% 保有している。Waitsia ガス田で生産される天然ガスを改質して得られる水素をもとにアンモニアを合成し、その過程で排出される CO<sub>2</sub> を廃ガス田に貯留することにより、クリーン燃料アンモニアを製造・輸出することを検討している。

豪 Woodside Energy は、2021 年 10 月 21 日、Bechtel に対して、Pluto Train 2 についての、エンジニアリング・調達、カラサの作業員宿舎建設への初期作業について、推進限定通知を発行した、と述べた。

Woodside は、2021 年 10 月 25 日、西豪州の支援を受けパースで水素・アンモニア生産設備を構築する H2Perth 計画を発表した。同プロジェクトは、Kwinana Strategic Industrial Area ・ Rockingham Industry Zone で州当局から賃借される工業用地 130 ヘク

タールに建設される。アンモニア・液体水素の形で、輸出用に最大日量 1500 トンの水素を生産することとなる。輸出プロジェクトの日程とは別に、地元の燃料充填用のステーション網は建設され、早ければ 2023 年にも稼働開始される。必要な商業上・規制上の承認手続き、最終投資決定 (FID) 次第だが、建設は 2024 年開始見込み。

マレーシア PETRONAS は、2021 年 10 月 27 日、ASEAN Energy Sector Methane Roundtable 2021 が、地域内でのメタン排出管理での協力機会を話し合うため開催されたことを発表した。PETRONAS、PTT、PERTAMINA、Shell、United Kingdom Oil and Gas Industry Association Limited (OGUK)、国際エネルギー機関 (IEA)、World Bank、国連環境計画 (UNEP)、Methane Guiding Principles (MGP) が参加した。

PETRONAS は、2021 年 10 月 7 日、PETRONAS Marine ブランドで、サバ州で専用 LNG バンカー船舶 (LBV) MV Avenir Advantage によりサバ州での自社最初の LNG バンカリングを実施したことを発表した。世界最大 180,000 トン LNG 推進船 HL Green への LNG バンカリングは、サンダカン港湾 12 カイリ沖で実施された。MV Avenir Advantage は PETRONAS 最初の専用 LBV で容量 7,500 m<sup>3</sup> である。

## [北米]

米連邦環境保護庁 (EPA) は、2021 年 11 月 2 日、石油・天然ガス産業からの汚染削減について、初めて全国での既存排出源からの削減も含め、新たな規制を提案した。大気浄化法規則改正案は、メタン排出その他大気汚染物質の大幅削減を目指す。米国では、石油・天然ガス産業が、産業として最大のメタン排出源であり、164 ケ国合計の全温室効果ガス排出よりも多くのメタンを排出する。EPA は 2023 年から 2035 年の、天然ガス・石油価格に対する規則案の影響を分析し、影響は軽微と推定している。この規則案により、同期間にメタン排出 4100 万トンを削減することとなるとしている。

米連邦エネルギー規制委員会 (FERC) は、2021 年 10 月 21 日、Sabine Pass、Corpus Christi LNG 設備液化容量を、実容量を反映して、新規設備や建設活動を伴うことなく、各々年間 1.509 兆立方フィートから 1.66194 兆立方フィート、7670 億立方フィートから 8751.6 億立方フィートに、拡大することを承認する指令を発行した。結果として合計年間 543 万トンの増加となる。

Cheniere Energy は、2021 年 10 月 25 日、Glencore と LNG 売買契約 (SPA) を締結した、と発表した。Glencore は Cheniere Marketing から FOB 条件で、2023 年 4 月から 13 年間、年間 80 万トンを購入することに合意した。

Cheniere Energy は、2021 年 10 月 11 日、Cheniere Marketing, LLC が、中国の新奥天然气股份有限公司 (ENN Natural Gas Co., Ltd.) 子会社 ENN LNG (Singapore) と LNG 売買契約 (SPA) を締結したことを発表した。ENN LNG は、2022 年 7 月から 13 年間、FOB 条件で、年間 90 万トンを購入することに合意した。

Cheniere Energy は、2021 年 11 月 5 日、Cheniere Marketing が中国中化集团有限公司

(Sinochem Group)との間で拘束力ある LNG 売買契約 (SPA)を締結したことを発表した。中化集團は 2022 年 7 月から当初年間 90 万トンを購入、その後年間 180 万トンに増加することに合意している。期間は 17.5 年間、FOB 条件での引き取りとなる。

米連邦エネルギー規制委員会 (FERC) は、2021 年 10 月 29 日、Venture Global Calcasieu Pass, LLC によるコミッショニング原料ガス導入申請を認める書簡を発行した。

米 Venture Global LNG は、2021 年 10 月 1 日、自社 Plaquemines LNG が、DOE (連邦エネルギー省) に、中国石化 (Sinopec) と締結した 2 本の長期 LNG 引き取り契約を提出した、と述べた。2 本は各、20 年間、年間 280 万トンと 120 万トンである。

Venture Global LNG、中国石油化工股份有限公司 (中国石化 = Sinopec) は、2021 年 11 月 4 日、Venture Global のルイジアナ州プラクミンズ郡 Plaquemines LNG 輸出設備から LNG 年間 400 万トン分、20 年間の売買契約 2 本の締結を発表した。中国石化子会社 中国国際石油化工連合有限責任公司 (連合石化 = UNIPEC) は、Venture Global の Calcasieu Pass LNG 設備から短期で 350 万トンの購入に合意した。Venture Global LNG は、これは米国企業が中国向けとして締結した単独では最大の取引となる、と述べた。

Chevron は、2021 年 10 月 11 日、気候変動レジリエンス報告更新版を発行し、低炭素将来に向けた会社の目標詳細を示した。スコープ 1、2 自社出資分上流排出を 2050 年ネットゼロとする目標を設定した。TCFD 準拠報告で、Chevron がスコープ 1、2、3 の排出に関するポートフォリオカーボンインテンシティ (PCI) 目標を確立し、温室効果ガス排出目標にスコープ 3 排出を織り込む方法を示している。2016 年水準から 2028 年までにカーボンエミッションインテンシティを 5%以上削減する目標を設定している。

米ニューヨーク州環境保護部 (DEC) は、2021 年 10 月 27 日、NRG Energy 子会社 Astoria Gas Turbine Power, LLC.、およびオレンジ郡ニューバーグ町の Danskammer Energy Center ガス火力発電設備の大気基準承認申請を却下したことを発表した。

カナダの LNG Canada は、2021 年 10 月 6 日、プロジェクト全体での作業が 50%完了を超えたことを発表した。プロジェクト会社はまた、TC Energy が同 LNG プロジェクトと接続する Coastal GasLink パイプライン完成に向けて明らかにしているコスト超過、日程遅延に関して引き続き懸念している、と述べた。

TC Energy の Coastal GasLink は、2021 年 10 月 29 日、プロジェクトの 50%以上を完成し、2023 年完成目標に進んでいることを発表した。670 km 区間中、200 km 以上のパイプを敷設した。キティマット計量ステーション、マレー川横断区間も完了した、と述べた。

Mexico Pacific Limited LLC (MPL) は、メキシコ ソノラ州 Puerto Libertad の MPL LNG 輸出プロジェクト開発者で、2021 年 10 月 25 日、ConocoPhillips・Bechtel と、Techint S.A. de C.V. とともに同プロジェクトの将来革新的低カーボン LNG ソリューションを推進するための協力協定を締結した、と発表した。MPL LNG プロジェクトは年間 1410 万トンの LNG 輸出設備となる。

## 【中東】

カタール Qatar Petroleum (QP) は、2021 年 10 月 3 日、新造 LNG 輸送船舶 4 隻を、中国船舶工業集団公司 (CSSC) 子会社 沪 中 造船 (集 ) 有限公司 (Hudong) に発注したことを発表した。North Field 拡張プロジェクト用の将来の LNG 船団需要・既存船舶代替需要に対応する QP の LNG 造船プログラム発注の第 1 弾となる。QP および関連企業で中国造船に LNG 輸送船舶を発注するのも初で、2020 年 4 月に締結した造船枠予約合意後、Hudong への初の発注ともなる。

カタール Qatar Petroleum (QP) は、2021 年 10 月 11 日、自社名を QatarEnergy、新たなスローガン「あなたのエネルギー・ランジッション・パートナー」と発表した。

カタール Qatargas は、2021 年 10 月 17 日、ラスラファン工業都市で LNG メガトレイン 4 系列建設を開始したトゥイートした。

## 【欧州・ロシア】

欧州委員会 (EC) は、2021 年 10 月 13 日、世界的なエネルギー価格の史上稀な上昇に対処するため、エネルギー価格に関する通知を発表した。その通知には、現在の価格上昇影響に対処し、さらに将来の衝撃に対してレジリエンスを強化するため EU、加盟諸国が使える「道具箱」を含む。短期的な国レベルの策としては、世帯に対する所得補助、企業に対する国庫支援、対象を絞った減税を含む。EC はさらに再生可能エネルギー源、省エネルギーへの投資を支援し、エネルギー貯蔵・ガス在庫の買い取りに関する手段を検討し、電力市場設計を評価するとしている。

QatarEnergy は、2021 年 10 月 19 日、自社と Shell が、英国でのブルー、グリーン水素プロジェクトに共同投資を検討する合意を締結した、と述べた。

Gate terminal B.V. は、2021 年 10 月 11 日、年間 10 億 m<sup>3</sup> 分の容量追加拡張投資計画を発表した。これより先の 5 億 m<sup>3</sup> 拡張投資発表と合わせ、総容量が年間 135 億 m<sup>3</sup> となる。追加送出容量は 2024 年 10 月から利用可能となり、その際 Uniper が同基地で 40 億 m<sup>3</sup> の最大容量所有者になる。

商船三井 (MOL) は、2021 年 11 月 1 日、子会社 Emerald Blue Maritime が保有する世界最大級の LNG 燃料供給船第 2 船「Gas Vitality」の建造資金として、トランジション・リンク・ローンによる資金調達契約を締結したことを発表した。本ローンはフランスの Société Générale を主幹事行、三井住友銀行を幹事行とする。本船は、2020 年 4 月に竣工した第 1 船「Gas Agility」の姉妹船で、2021 年 10 月 31 日、中国の滬東中華造船 (Hudong-Zhonghua Shipbuilding) にて竣工し、Total Energies Marine Fuels に傭船されている。

TotalEnergies、Air Liquide、VINCI は、2021 年 10 月 1 日、クリーンな水素インフラストラクチャーソリューション専門の世界最大のファンド創設に向け、他大口国際企業と協力することを発表した。

日本郵船 (NYK) は、2021 年 10 月 4 日、自社と Geogas LNG SAS 社が共同保有するフ

ランスの船舶保有会社 France LNG Shipping SAS が保有し、 TotalEnergies Gas & Power Ltd と定期傭船契約している新造 LNG 運搬船の「LNG ENTERPRISE」が 9 月 30 日、韓国の三星重工業 (SHI) にて竣工したと発表した。本船は燃料油とボイルオフガス（航行中にカーゴタンク内で気化した LNG）を利用する二元燃料低速ディーゼル機関「X-DF エンジン」を搭載している。余剰ボイルオフガスを有効に利用する再液化装置を搭載する。

Fluxys は、2021 年 10 月 11 日、Dunkerque LNG が 2022 年の利用可能なトラック積み込み枠の応募手続きを開始する、と発表した。年間 2,000 スロットである。

Gasum は、2021 年 11 月 2 日、North Sea Midstream Partners (NSMP) と、Risavika LNG 液化設備を譲渡し、引き続き LNG ・ LBG (液化バイオガス) 長期契約での引き取りは継続することで合意したことを見た。

スペイン Enagás は、2021 年 10 月 15 日、自国ガスシステム上の気化基地での LNG 輸送船舶荷揚枠の 2 次特別オークションを完了した、と発表した。9 月特別オークションで配分された 22 追加枠に加え、10 月同社は今後 12 ヶ月間での 23 特別枠を配分している。この 2 回のオークションで、今後 12 ヶ月間について当初計画分に追加で合計 45 枠が配分された。冬季 (2021 年 11 月 - 2022 年 3 月) は、既に 136 枠が配分されており、2020 年 11 月から 2021 年 3 月の荷揚実績 86 件を上回っている。

イタリアで最初の LNG 内航供給拠点となる貯蔵容量 20,000 m<sup>3</sup> Depositi Italiani Gnl (Dig) が Ravenna 港で開業された。同プロジェクトは 51% PIR (Petrolifera Italo Rumena)、30% Edison 、19% Scale Gas が所有している。スペイン Enagás は、同基地稼働開始初期段階を支援した。

ロシア Gazprom は、2021 年 10 月 13 日、自国政府と自社が「天然ガスに基づく水素エネルギー開発、鉱業・輸送の脱炭素化」活動のハイテク分野推進協定を締結、と発表した。

ロシア大統領は、2021 年 10 月 13 日、欧州天然ガス価格上昇は電力不足により生じたもの、と述べた。ロシアは欧州含むパートナーに向けて契約上の義務を履行し、中断なくガス供給を確保する、と述べた。またロシアは常に途上でパートナーと会い、追加的措置を話し合う用意がある、と述べた。

Gazprom は、2021 年 11 月 1 日、2021 年最初の 10 ヶ月間に 4226 億 m<sup>3</sup>、前年同期比 15.8% (577 億 m<sup>3</sup>) 増のガスを生産した、と発表した。同社は国内市場向け供給を 17.2% (288 億 m<sup>3</sup>) 増加した。FSU 外諸国向けガス輸出は 10.4% (149 億 m<sup>3</sup>) 増の 1588 億 m<sup>3</sup> とした。

Gazprom は、2021 年 10 月 29 日、ロシア国内の地下ガス貯蔵設備に関して、目標となっていた有効稼働ガス在庫 726.38 億 m<sup>3</sup> の水準に達したことを発表した。最大日量払い出し容量は 8.479 億 m<sup>3</sup> に上がった。国内貯蔵設備への注入作業は、11 月 8 日まで継続する。

Nord Stream 2 社は、2021 年 10 月 18 日、Nord Stream 2 パイプライン第 1 線へのガス充填作業が完了した、と発表した。計画および設計基準に沿って、テクニカルガス 1.77 億 m<sup>3</sup> を充填し、圧力 103 バールに達した。

Gazprom は、2021 年 10 月 1 日、ハンガリー、クロアチアが TurkStream ガスパイプライン、ブルガリア・セルビア・ハンガリーの国家輸送網経由でロシア産ガスを受入開始したことを発表した。TurkStream はロシアからトルコ向け黒海縦断の年間 315 億 m<sup>3</sup> 容量の輸出用ガスパイプラインである。

Gazprom は、2021 年 10 月 7 日、Linde、RusKhimAlyans と、Ust-Luga 近くの、エタン含有量の多いガスを処理する設備 (CPECG) の一部としてのガス処理設備 (GPC) の一環としての LNG 生産設備第 3 生産系列建設可能性を検討する覚書 (MOI) を締結したことを発表した。

Gazprom は、2021 年 10 月 28 日、自社・RusGazDobycha はエタン含有ガスを処理するための Ust-Luga 設備を建設している、と述べた。この設備には年間 1300 万トン容量の LNG 生産設備が含まれる。レニングラード地方で容量年間 150 万トン Portovaya LNG 生産・貯蔵・出荷プロジェクトも建設中である。ウラジオストックでも中規模 LNG 設備が検討中である。Gazprom は 2014 年から、ペルミ地方で小規模 LNG 設備 1 件、天然ガス受入・貯蔵・気化ステーション 3 件を操業中である。トムスク、サハリン地方でも同様のプロジェクトを検討している。

Gazprom は、2021 年 11 月 2 日、自社・RusGazDobycha 間合弁事業 Gazprom Dobycha Tambey Limited Liability Company 設立登記を発表した。ヤマル半島 Tambeyskoye ガス田を 2026 年生産開始予定で開発する。同ガス田のガスはエタン含有量が高い。

日本郵船は、2021 年 10 月 4 日、ロシアの大手海運会社 Sovcomflot との合弁会社を通して、Novatek Gas & Power Asia Pte. Limited と新造 LNG 運搬船 4 隻の長期定期傭船契約を 9 月 29 日に締結したことを発表した。本船は韓国の三星重工業株式会社 (SHI) で 2023 年から 2024 年にかけて順次竣工する予定で、燃料油とボイルオフガス（航行中にカーゴタンク内で気化した LNG）を利用する二元燃料低速ディーゼル機関「X-DF エンジン」や船の推進プロペラ軸の回転を利用した軸発電システムを導入、余剰ボイルオフガスを有効に利用する再液化装置を搭載する。

Gazprom は、2021 年 10 月 28 日、Kovyktinskoye ・ Chayandinskoye 間のパイプライン区間 803.4 km 中、432 km が溶接・敷設・充填された、と発表した。Chayandinskoye ガス田からのガスは Power of Siberia パイプラインに送られている。2023 年から、Power of Siberia はイルクーツク州 Kovyktinskoye ガス田からガスを受け入れることとなる。

Gazprom は、2021 年 10 月 22 日、Amur GPP ガス処理設備のヘリウム分離・液化・パッケージング設備 3 基中、最初の 1 基が稼働開始し、最初の出荷が既に買主向けになされたことを発表した。

Gazprom は、2021 年 10 月 22 日、モンゴル経由中国へのパイプラインガス供給プロジェクトに関する覚書 (MOU) 実施に関して、モンゴル政府との検討会を行ったと発表した。Soyuz Vostok ガスパイプラインプロジェクトの事業化調査進展状況に関して話し合った。

## 【南米】

パナマ運河 2021 年度（2020 年 10 月 - 2021 年 9 月）は、通航輸送量が 2020 年度比 8.7%、2019 年度比 10% 増の過去最高を記録した。LNG、LPG、その他が牽引した。LNG 輸送船舶は通過トン数で 31.4% 増と全部門を通じて最高の増加だった。LNG は年間トン数、通過回数で過去最高、2021 年 1 月は月間トン数、通過回数で新記録となった。LPG は 18.4%、自動車輸送船舶は 15.6% 増加となった。

New Fortress Energy (NFE) は、2021 年 11 月 2 日、ニカラグアで LNG 基地・発電設備建設を 2021 年第 4 四半期完了し、2022 年第 1 四半期に自社発電設備のコミッショニングを開始する見込み、と述べた。同社のメキシコ バハカリフォルニアスル州 La Paz LNG 基地は、全面稼働となっている。

## 【グローバル、原油市場】

米国、欧州連合 (EU)、加えて 103 ヶ国が、2021 年 11 月 2 日、Global Methane Pledge を発足した。各国は、世界のメタン排出を 2020 年から 2030 年までに 30% 以上削減する共同目標をコミットする。国際エネルギー機関 (IEA) は実施上のパートナーとなる。

国際連合 (UN)、欧州委員会 (EC) は、2021 年 10 月 31 日、国連環境計画 (UNEP) が欧州連合 (EU) 支援を得て国際メタン排出観測所 (IMEO) の G20 サミットでの発足を発表した。化石燃料部門からのメタン排出に焦点を置き、その後農業、廃棄物部門に拡大する。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp